

血液製剤関係研究事業一覧

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H16交付 決定額	H17交付 決定額	H18交付 決定額	課題合計
献血者及び血液の安全性向上のための問診のあり方に関する研究	H14～16	高野 正義	献血血液製剤調査機構	専務理事	6,300	—	—	19,600
血小板製剤の有効期限延長と安全性確保に関する研究	H14～16	大戸 斉	福島県立医科大学医学部	教授	6,300	—	—	19,600
献血により生じる健康被害の発生防止に関する研究	H15～17	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院医療管理学分野	教授	10,000	8,284	—	28,284
医療機関における血液製剤の適正使用の推進に関する研究	H15～17	清水 勝	杏林大学医学部臨床検査医学教室	客員教授	7,000	6,000	—	20,000
安全な血液製剤を確保するための新興・再興感染症等の診断、除去・不活化法の研究	H16～18	岡田 義昭	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	20,000	16,000	13,600	49,600
血液新法に伴う輸血管理体制と安全管理・適正使用マネジメントシステムの構築	H16～18	高橋 孝喜	東京大学医学部附属病院輸血部	教授	7,500	8,000	6,800	22,300
癌免疫細胞療法における凍結血漿の使用に関する調査研究	H16～17	岡 正朗	山口大学医学部	教授	5,000	3,000	—	8,000
輸血用血液及び細胞療法の安全性に関する研究	H16～17	星 順隆	東京慈恵会医科大学医学部	教授	10,000	10,000	—	20,000
同種血輸血安全性向上に伴う自己血輸血適応の再検討	H16～18	佐川 公矯	久留米大学医学部附属病院	教授	10,000	10,000	8,500	28,500
輸血用血液の細菌感染防止と血小板製剤の有効性期限延長に関する研究	H17～19	大戸 斉	福島県立医科大学医学部	教授	—	6,000	3,000	9,000
輸血用血液の安全性向上のための異常プリオン検出系の開発	H17～19	岡田 義昭	国立感染症研究所	室長	—	8,000	6,800	14,800
免疫学的輸血副作用の把握とその対応に関する研究	H17～19	高本 滋	愛知医科大学医学部	教授	—	8,000	6,800	14,800
献血時の問診、説明と同意に関する研究	H17～19	中島 一格	東京都西赤十字血液センター	所長	—	3,000	2,500	5,500
輸血用血液製剤中のエンドトキシンに関する研究	H17～18	遠藤 重厚	岩手医科大学医学部	教授	—	10,000	7,000	17,000
若年献血者数増加のための非献血者の意識構造に関する研究	H17～18	田久 浩志	中部学院大学人間福祉学部	教授	—	2,800	2,380	5,180
輸血用血液製剤の安全性向上に関する研究	H17	水落 利明	国立感染症研究所	室長	—	5,000	—	5,000
血液製剤の安定確保のための需給量の将来予測手法の開発に関する研究	H18～20	高野 正義	献血血液製剤調査機構	専務理事	—	—	2,500	2,500
特殊免疫グロブリンの国内製造に係わる基礎整備に関する研究	H18～19	白幡 聡	産業医科大学医学部	教授	—	—	2,500	2,500
大量出血時の止血能の評価と輸血療法に関する研究	H18～20	高松 純樹	名古屋大学医学部付属病院	教授	—	—	7,500	7,500
献血者の安全確保対策に配慮した採血基準の拡大に関する研究	H18～20	河原 和夫	東京医科歯科大学大学院政策科学分野	教授教育職	—	—	7,000	7,000
血液製剤の安全性確保のための技術開発と標準化及び血液製剤の精度管理法の開発に関する研究	H18～20	山口 照英	国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部	部長	—	—	1,500	1,500
輸血用血液製剤の安全性向上に関する研究	H18～19	水落 利明	国立感染症研究所血液・安全性研究部	室長	—	—	6,000	6,000
輸血用血液及び細胞療法の安全性に関する研究	H18	藤井 康彦	山口大学医学部附属病院	副部長	—	—	8,000	8,000
血液製剤に対するエンドトキシン試験法の適用と標準化に関する研究	H18～19	山口 一成	国立感染症研究所血液・安全性研究部	部長	—	—	4,000	4,000
年度合計					82,100	104,084	96,380	423,724

※課題合計欄は、当該事業に交付決定された金額の総合計額である。

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業【人工血液開発分野】

(単位：千円)

研究課題名	研究期間 (年度)	主任研究者	所属施設	職名	H16交付 決定額	H17交付 決定額	H18交付 決定額	課題合計
ヘモグロビンアロステリーを利用した付加価値赤血球製剤の創製と救急医療への応用	H15～17	末松 誠	慶應義塾大学医学部	教授	19,800	16,000	—	57,800
認識部位担持リポソーム・アルブミン重合体の安全性と止血効果の評価	H15～17	池田 康夫	慶應義塾大学医学部内科学	教授	82,500	62,000	—	235,686
救急治療薬としてのヒト抗体調製に関する研究	H15～17	黒澤 良和	藤田保健衛生大学総合医科学研究所	教授	27,000	20,000	—	83,000
救急・災害医療に利用可能な人工赤血球の開発に関する研究	H15～17	四津 良平	慶應義塾大学医学部外科	教授	22,500	18,000	—	65,500
血管炎治療のための人工ポリクローナルグロブリン製剤の開発と安全性向上に関する研究	H15～17	鈴木 和男	国立感染症研究所生物活性物質部第三室	室長	36,000	30,000	—	106,000
人工赤血球の安全性向上に関する研究	H15～17	小林 紘一	慶應義塾大学医学部外科	教授	63,420	56,000	—	189,480
幹細胞を利用した分化誘導培養による人工血液の開発に関する研究	H16～18	白井 睦訓	山口大学医学部	教授	6,000	4,000	3,000	13,000
幹細胞を利用した分化誘導培養による人工血液の開発に関する研究	H16～18	千葉 滋	東京大学医学部附属病院	助教授	63,950	40,000	29,999	133,949
ヒト胚性幹細胞を利用した分化誘導培養による人工血液の開発に関する研究	H16～17	辻 浩一郎	東京大学医科学研究所	助教授	6,000	4,000	—	10,000
ICUで使用可能な人工赤血球およびME技術の開発に関する研究	H17～19	武田 純三	慶應義塾大学医学部	教授	—	5,000	7,000	12,000
ヒトES細胞を用いた安全な人工血液の開発に関する研究	H18～20	湯尾 明	国立国際医療センター研究所血液疾患研究部	部長	—	—	7,000	7,000
血管炎治療のための人工ポリクローナルグロブリン製剤の開発と安全性確保に関する研究	H18～20	鈴木 和男	国立感染症研究所生物活性物質部第三室	室長	—	—	26,000	26,000
血液製剤安定確保のための人工酸素運搬体を用いた救急医療への応用に関する研究	H18～20	四津 良平	慶應義塾大学医学部	教授	—	—	15,300	15,300
人工酸素運搬体の臨床応用に関する研究	H18～20	小林 紘一	慶應義塾大学医学部	教授	—	—	48,001	48,001
治療薬としてのヒトモノクローン抗体製剤化に関する研究	H18～20	黒澤 良和	藤田保健衛生大学総合医科学研究所	教授	—	—	10,241	10,241
赤血球・酸素輸液の有効利用を目的としたヒト組換型アルブミン修飾製剤の開発	H18～20	末松 誠	慶應義塾大学医学部	教授	—	—	13,600	13,600
臨床応用可能な人工血小板としてのH12結合微粒子のin vivo評価	H18～20	半田 誠	慶應義塾大学医学部	助教授	—	—	52,700	52,700
年度合計					327,170	255,000	212,841	1,352,695

食品の安全性高度化推進研究事業
(平成15年度は「食品安全確保研究事業」として実施)

(単位：千円)

研 究 課 題 名	研究期間 (年度)	主任研究者	所 属 施 設	職 名	H16交付 決定額	H17交付 決定額	H18交付 決定額	課題合計
血液中でのプリオンタンパクの存在様式の解析と 血液製剤からのプリオン除去の研究	H14～16	岡 田 義 昭	国立感染症研究所血液・ 安全性研究部	室 長	11,300	—	—	36,550
年 度 合 計					11,300	0	0	36,550

※課題合計欄は、当該事業に交付決定された金額の総合計額である。

厚生労働科学特別研究事業

(単位：千円)

研 究 課 題 名	研究期間 (年度)	主任研究者	所 属 施 設	職 名	H16交付 決定額	H17交付 決定額
免疫学的輸血副作用の実態把握とその対応に関する研究	H16	高 本 滋	愛知医科大学医学部輸血 部	客員教授	8,000	—
献血血液のウエストナイルウイルス・スクリーニ ング法に関する研究	H17	山 口 一 成	国立感染症研究所血液・ 安全性研究部	部 長	—	5,400